

(様式3) 社会資本総合整備計画 中間評価書 (案)

計画の名称	“ふじのくに”「命」を守る公園整備									
計画の期間	平成24年度～平成28年度			交付対象	静岡県					
計画の目標	発生が懸念される東海地震や東海・東南海・南海の三連動地震などによる災害から県民の生命を守り、安全・安心に利用できる都市公園を創出する。									
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 草薙総合運動公園における避難人口1人当たり避難地面積を1.37m²/人から1.69m²/人とする。 草薙総合運動公園における整備すべき屋内緊急物資集積所整備率を22.5%から69.9%に拡大する。 県営都市公園における遊具に係る長寿命化対策(更新)を100%にする。 吉田公園における来園者全員が最寄りの津波避難施設へ移動できる割合。 									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考	
						当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)		
① 草薙総合運動公園における避難人口1人当たりの避難地面積(m ² /人) ※避難人口1人当たり避難面積=避難地面積(m ²)÷想定避難人口(人)						1.37m ² /人	—	1.69m ² /人		
② 草薙総合運動公園における整備すべき屋内緊急物資集積所整備率(%) ※整備すべき屋内緊急物資集積所整備率(%)=屋内緊急物資集積所面積(m ²)/整備すべき屋内緊急物資集積所面積(m ²)						22.50%	47.50%	69.90%		
③ 長寿命化対策済み遊具数/県営都市公園全体の遊具数(19施設)(%)						78.90%	94.70%	100%		
④ 吉田公園における来園者全員が最寄りの津波避難施設へ移動できる割合(%)						0%	57.60%	100%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	8,323 百万円	A	8,273 百万円	B	0 百万円	C	50 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	1%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ										
第2期 (H20～H24)					第3期 (H25～H29)					
分野名	環境・景観				分野名	活力・交流				
目標名	美しい景観の保全と創出				目標名	豊かで活力あるまちづくり・緑と潤いのあるアメニティ空間の創出				
指標名	都市計画区域内の1人当たり都市公園面積			目標値 (H24)	8.51m ²	指標名	緑と潤いのあるアメニティ空間を創出する都市公園の整備率		目標値 (H29)	85.3%

中間評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成または完成見込 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) —:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))

交付対象事業

A1 都市公園事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
											H24	H25	H26	H27	H28			
A-1	公園	一般	静岡県	直接	静岡県			都市公園事業(草薙総合運動公園)	体育館、室内練習場、園地園路整備、用地取得等	静岡市						7,618	○	
A-2	公園	一般	静岡県	直接	静岡県			公園施設長寿命化対策支援事業	遠州灘海浜公園等2箇所における遊具等の更新	浜松市、沼津市						355	○	
A-3	公園	一般	静岡県	直接	静岡県			都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	災害避難施設整備	吉田町						300	○	
											合計	8,273						
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28				
											合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業 者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗 状況	備考
										H24	H25	H26	H27	H28			
C-1	道路	一般	静岡県	直接	静岡県		市道池田聖一色1号線	道路改良	静岡市						50		
合計														50			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	緊急車両の通行が円滑となり、草薙総合運動場の防災拠点としての機能向上が見込まれる。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

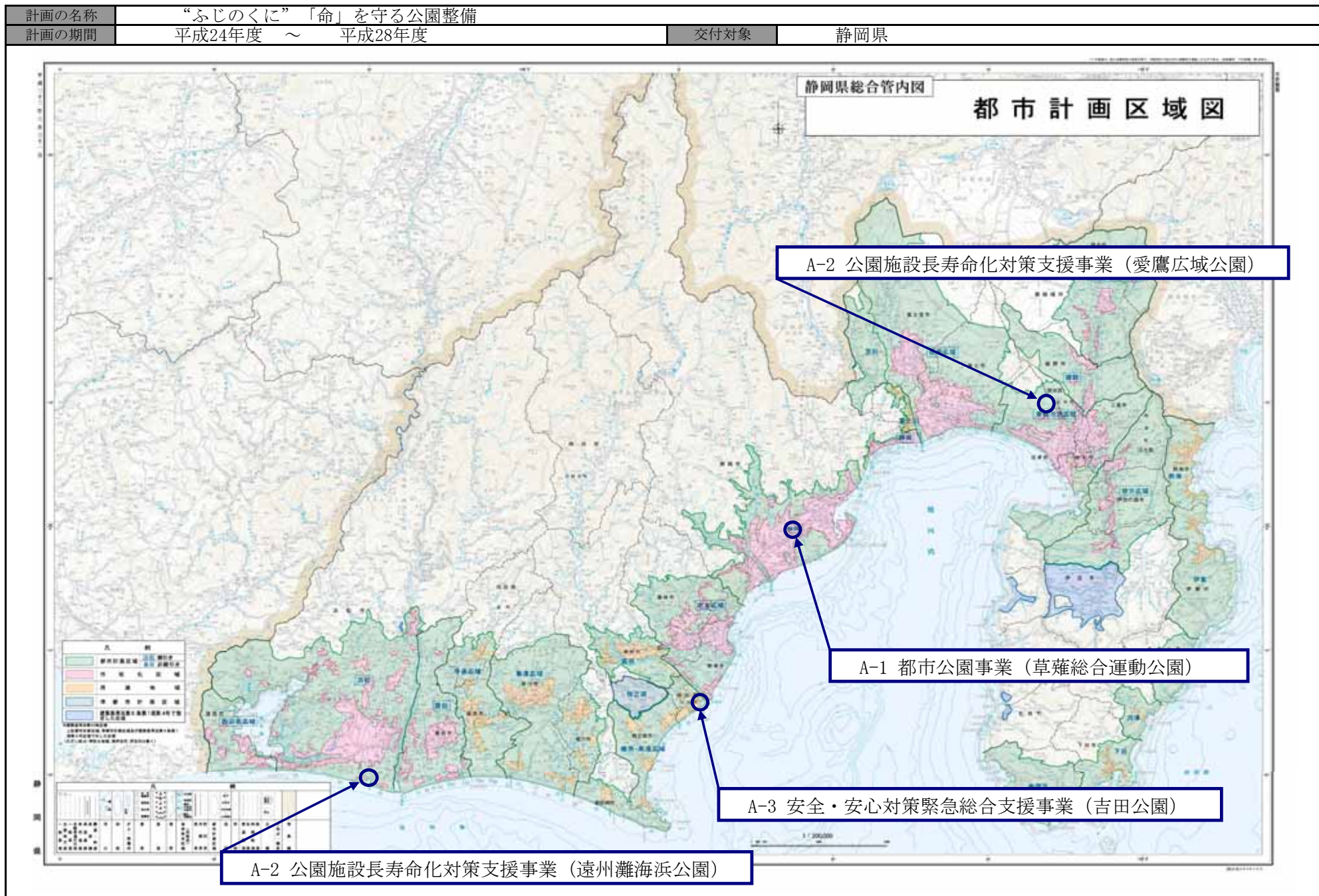
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		災害時に緊急物資集積所となる屋内運動場が完成したことにより、草薙総合運動公園の防災拠点としての機能強化が図られた。			
II 定量的指標の達成状況	指標②（ ）	中間目標値	47.5%	目標値と実績値に差が出た 要因	災害時に緊急物資集積所となる屋内運動場の完成により、中間目標値を達成できた。
		中間実績値	47.5%		
	指標③（ ）	中間目標値	94.7%	目標値と実績値に差が出た 要因	交付金の内示の状況に応じ、緊急度の高い施設から優先的に改築・更新を実施している。
		中間実績値	84.2%		
	指標④（ ）	中間目標値	57.6%	目標値と実績値に差が出た 要因	地質調査を実施したところ、液状化対策が必要であることが判明したため、対策工事が追加となった。
		中間実績値	0.0%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項（今後の方針等）

地質条件への変更や交付金の内示の状況等への対応により中間目標値の達成が困難となった事業があるが、予算の確保、事業の執行管理に努め、最終目標値の達成を目指していく。

(様式3) 社会資本総合整備計画 (参考図面)



“ふじのくに”「命」を守る公園整備

平成26年8月25日

交通基盤部都市局公園緑地課

草薙総合運動場（平成26年7月撮影）

◇計画概要 1

計画の名称	“ふじのくに”「命」を守る公園整備
計画の期間	平成24年度～平成28年度
交付対象	静岡県
計画の目標	発生が懸念される東海地震や東海・東南海・南海の三連動地震などによる災害から県民の生命を守り、安全・安心に利用できる都市公園を創出する。

◇計画概要 2

計画の成果目標 (定量的指標)	草薙総合運動公園における避難人口1人当たり避難地面積を1.37m ² /人から1.69m ² /人とする。
	草薙総合運動公園における整備すべき屋内緊急物資集積所整備率を22.5%から69.9%に拡大する。
	県営都市公園における遊具に係る長寿命化対策(更新)を100%にする。
	吉田公園における来園者全員が最寄りの津波避難施設へ移動できる割合。

公園 “ふじのくに”「命」を守る公園整備

◇静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ

分野 活力・交流

目標 豊かで活力あるまちづくり・緑と潤いのあるアメニティ空間の創出

指標名 緑と潤いのあるアメニティ空間を創出する都市公園の整備率

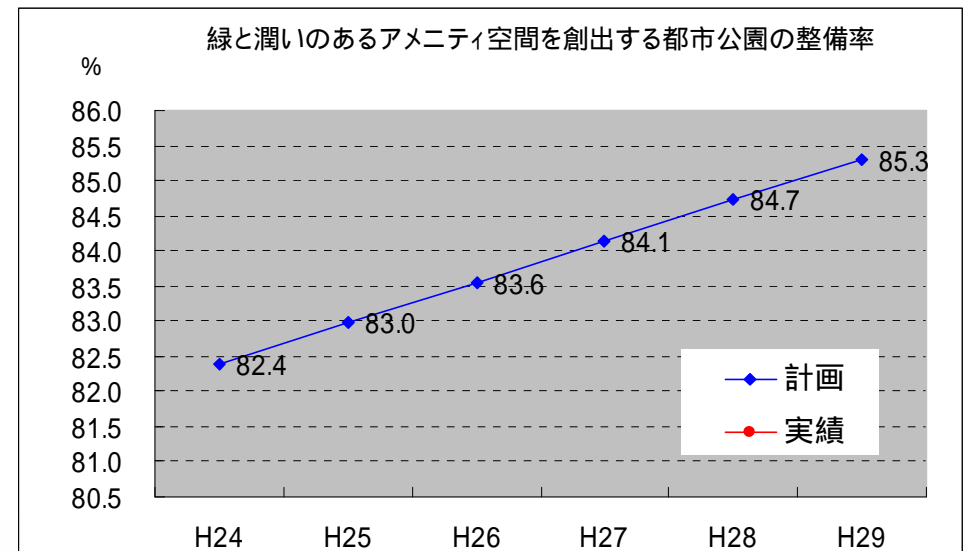
H24基準値 82.4% ⇒ H29目標値 85.3%

取組・実績

- ・草薙総合運動場の屋内運動場の整備や体育館の建替えを実施。また、市町による公園整備を促進した。
- ・効率的、効果的に街づくりを進める土地区画整理事業などと連携を図り、都市公園の整備を促進した。

今後の課題・取組

- ・草薙総合運動場の新体育館の建設及び現体育館の撤去を行い、その跡地の広場整備を推進していく。
- ・今後も、都市公園の整備や都市緑化を促進する市町に対し、十分な支援をするよう努める。



◇定量的指標の達成状況 1

指標①草薙総合運動公園における避難人口1人当たり避難地面積

H24 当初現況値	H26 中間目標値	H26 中間実績値	H28 最終目標値
1.37m ² /人	-	-	1.69m ² /人

< 事業実施内容 >
隣接する用地を取得し、公園区域を拡張



草薙総合運動場航空写真(平成26年7月撮影)

自己評価・分析
本指標においては、中間目標値は定めていない。
本公園に隣接する用地は取得済みであり、引き続き公園施設の整備を進め、最終目標値の達成を目指す。

指標②草薙総合運動公園における整備すべき屋内緊急物資集積所整備率

H24 当初現況値	H26 中間目標値	H26 中間実績値	H28 最終目標値
22.5%	47.5%	47.5%	69.9%

< 事業実施内容 >
災害時に緊急物資集積所となる屋内運動場、体育館を整備



草薙総合運動場屋内運動場の内観(平成25年11月完成)

自己評価・分析
屋内運動場の完成により**中間目標値を達成**した。
引き続き、新体育館の建築工事の進捗を図り、最終目標値の達成を目指す。

◇定量的指標の達成状況 2

指標③県営都市公園における遊具に係る長寿命化対策(更新)率

H24 当初現況値	H26 中間目標値	H26 中間実績値	H28 最終目標値
78.9%	94.7%	84.2%	100%

<事業実施内容>
県営都市公園の遊具の改築、更新、修繕を実施



遠州灘海浜公園の大型複合遊具

自己評価・分析

交付金の内示状況に応じ、緊急度の高い施設から改築・更新を実施している。引き続き、予算確保に努め最終目標値の達成を目指す。

指標④吉田公園における来園者全員が最寄りの津波避難施設へ移動できる割合

H24 当初現況値	H26 中間目標値	H26 中間実績値	H28 最終目標値
0.0%	57.6%	0.0%	100%

<事業実施内容>
吉田公園内に4基の津波避難マウンド(命山)を整備



吉田公園命山イメージパース

自己評価・分析

地質調査の結果、液状化対策が必要となったため、H26末の中間目標値の達成は困難な状況であるが、予算確保に努め最終目標値の達成を目指す。

◇まとめ、今後の方針

中間目標値を達成し、効果の発現が図られた事業があった。

一方、地質条件変更への対応等により、中間目標値の達成が困難な事業があった。

最終目標値の達成に向け、予算の確保、事業執行管理に努める。